

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No. 1144

17.3.21

2月定例市議会報告



先週末からの3連休はとてもいい天気でした。この陽気に花粉が舞うせいか、目のかゆみと鼻水がひどくなりました。2月定例市議会も残すところ23日の最終日のみとなりました。今号は、日本共産党市会議長の質問について報告します。

カジノ（IRR）誘致をめよ！

3月3日（金）日本共産党の森下さち子議員は、代表質問で尾花市長が進めようとしているカジノ誘致を批判。カジノ推進法成立後のアンケート調査では和歌山市で反対が賛成を上回り、

賛成でも和歌山市には必要ないとの意見が多かったと指摘。和歌山弁護士会が、「カジノ解禁推進法」廃止を求める会長声明を発表したことや日本がパチンコなどにより、他国に比べても

ギャンブル依存症が深刻になっている状況を示し、カジノ誘致をやめるよう要求しました。尾花市長は「今しかないチャンス。本市の活性化につながる」と推進を表明しました。

子ども医療費助成制度の所得制限の撤廃をという市民要求に対し尾花市長は「所得に応じてさせていただきます政策を実施している」と拒否。和歌山市でも保育所に入れない待機児童が260人いる問題で、尾花市長は公立保育所において保育士の待遇改善を図り、3歳児未満保育、11時間保育を実現できる園を増やすと答えました。

フリーの人々



イナダ 防衛相
「あなたへの誘致は、禁煙の誘致と同じく、健康ではナイ」

うっせーおー！
「お水で、大田の森の井戸はアカンやろ」

ビックリ発言！
田ガテン

何を防衛したんやろ

和泉山脈の太陽光発電計画

3月6日（月）日本共産党の南畑さち子代議員は、大型太陽光発電所（メガソーラー）計画について一般質問をいたしました。

メガソーラー計画は2つで、隣接して河北地域の和泉山脈を切り開き、1つは

今週のフリーの人々

(その90)

記憶違いはウソでない?!
「ウソつきは泥棒の始まりだから、ウソついたらアカン」と親に言われて育ちました。

古くはロッキード事件の小佐野賢治、最近では野々村号泣元兵庫厚議や石原元都知事。都合の悪いことは記憶がないと言いつつ、逃れようとした方々です。多くは事実を認めたりウソをつくと罪に問われるので「忘れた」と言うのでしょー。



ひめだ高宏

先週、稲田朋美防衛相は事実と違ふ自身の答弁を撤回する事態になったにも関わらず、まったくの記憶に基づき答弁したので虚偽（ウソ）ではないと発言。間違った記憶を正しいと思っただけ、その水はウソでない！国会でその水を言うか？！うっせーおー！ビックリして田ガテンになりました。ウソ＝真実でないこと。また、そのことば（女辞苑第6版）なのでアウト！！

環境影響調査が必要は75ヘクタールをわずかに欠ける74・3ヘクタール(発電出力48メガワット)で、もう一つは132ヘクタール(同76・6メガワット)で、合わせて甲子園球場の5倍という巨大なものです。

両計画地とも下に住宅地が広がり、土砂災害特別警戒地域に指定されるなど、メガソーラー建設による森林の伐採で土砂災害の危険がいっそう高まることが懸念

念をみる地域です。

南畑市議は「公害が起きれば、それは人災であり取り返しがつかない」と指摘し、計画の中止を求めました。

マイナンバー強制するな!

3月7日(水)日本共産党の松坂みず子議員は、マイナンバー制度について一般質問しました。松坂市議は市報に「彼の申言はマイナンバーが必ずしも記載していいものか」として、法

た。尾花市長は「発電施設置のための林道開削による、公害が引き起こされることはあってはならない」と答へました。

はあくまで個人番号の提供をためるにとびとびであることしており、提供を強制できないと指摘。事業主に従業員個人番号を本人の承諾なしに市が住民税特別徴収決定通知書で送付すること

「こんどは日本共産党」

「森友疑惑」国会報告会

「トカゲの尻尾は切られても、トカゲの本体は逃がしたらあかん」20日、市内で開かれた宮本たけし衆院議員を招いての国会報告会は会場いっぱい。

宮本議員は2月15日に国会ではじめて「森友疑惑」をとりあげたその人だ。それだけに話はテレビだけでは分からないリアルなもの。ときにじっくりと聞かせ、ときに爆笑を誘う、まるで物語を聞いているような流れで、さすがだと感じた。

23日には衆参両院で「証人喚問」が行われるが、衆議

院は宮本議員が立つこのこと。わずか10分の短い時間らしいが、アベ政治のもとで行われている歪んだ政治、森友疑惑の問題の大きな闇を暴き出している。



原やすひさ (衆院1区)

て、事業主に保管の義務を負わせることと普通郵便で送るリスクをあげ、市の対応を質しました。

松坂議員は、性的マイノリティーの問題で、「ほとんどの人は学校で習ったこともなく知識がなかったため偏見を持ってしまっているの

学校司書の全校配置を果す

3月8日(水)日本共産党の中村あすく議員は、教育行政について一般質問をしました。

中村議員は、本町でただ一校、学校図書館司書が配置されている四箇郷小学校を視察。司書は配置後、明るく温かみのある使いやすいう図書館に様変わりし利用も拡大、和歌山大学教育学部と連携した実践研究や読み聞かせなどさまざまな取り組みを実施していることを紹介し、学校司書に求められる役割は、専門性や多

が実情。だからこらえようという情報や肯定的なメッセージを発信し続けることが必要」と市の対応を求めました。尾花市長は「多様な性の人権尊重のため、当事者の声に耳を傾け、幅広い市民が理解を深めるための読書等をすす」と答へました。

岐にわたると述べ、すべては学校の配置を果す。原教育長は「より効率的、効果的な図書館を模索」と答へ

中村市議は、学校給食が児童生徒の生活体験に関わる総合的な教育指導の場と指摘し、学校給食が教育の一環である以上、義務教育は無償という考えに基づき給食費を無償にするよう求めました。尾花市長は「学校給食法(第二条)給食費の無償化を担うに基つき進む」という方針を答へ